



みんなで作ろう！びらとりの未来（あした）！

びらとり

No.754

2026.

5



5月1日 こいのぼり掲揚（国保病院）

第3期子ども・子育て支援事業計画



重点的な取り組み

計画では次の取り組みを重点としています。

(新)こども家庭センター



妊娠・出産・子育てに関する悩みや不安を気軽に相談でき、子どもの成長や家庭での困りごとに寄り添い、関係機関と連携して支援します。

(継続)経済的負担の軽減



※保育料無償化

子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して保育サービスを利用できるよう支援します。家計の負担を和らげ、子どもの育ちを応援します。

(新)こども誰でも通園制度



保護者の就労要件にかかわらず、未就園児が時間単位で保育所等を利用できる新しい制度です。子育ての不安を支援につなげます。

(継続)放課後の居場所確保

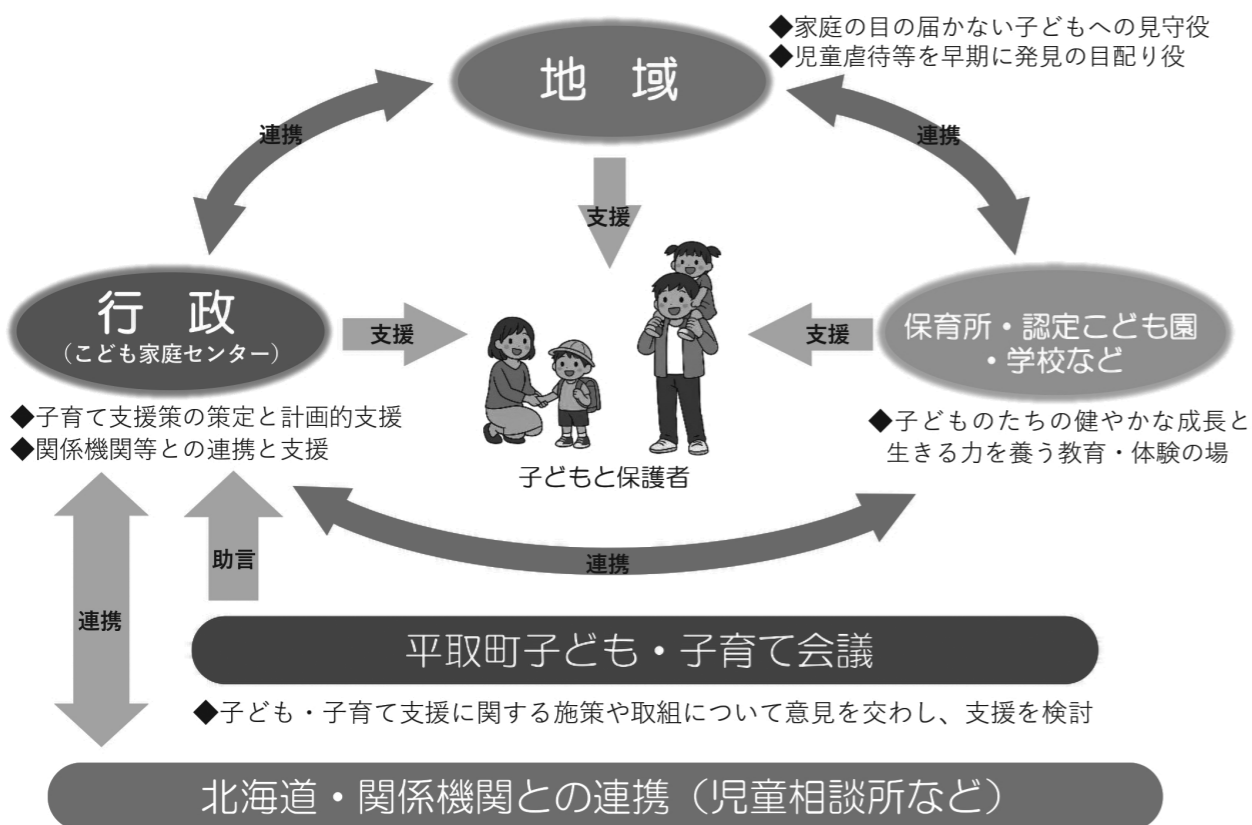


※児童クラブなど

放課後や長期休業中に、子どもが安心して過ごせる居場所です。遊びや交流を通して子どもの育ちを見守ります。

計画での推進体制図

子どもと家庭を支えるために、それぞれ連携して取り組む仕組みを整備します。



※「子ども・子育て支援事業計画」の本文は町ホームページにて公表しています。

地域全体で子どもと家庭を支えるまちへ

子どもたちが健やかに成長し、保護者が安心して子育てができる環境づくりをめざし、令和7年度から令和11年度までの5か年計画「第3期子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

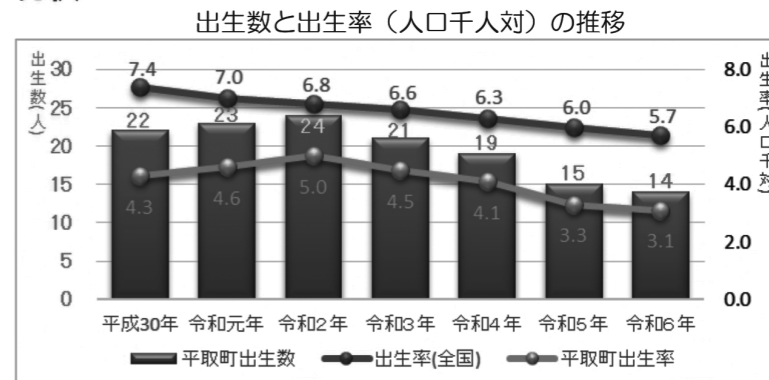
計画の基本理念「地域全体で子どもと家庭を支える」

本計画では、すべての子どもが健やかに成長し、保護者が安心して喜びを持って子育てができるよう、町・家庭・施設・地域が一体となった支援を推進するとしています。

■数字で見る平取町の子育ての現状

1. 少子高齢化の進行と出生減

少子高齢化が進行する中、町の子どもの出生数・出生率は、令和2年度から年々低下しており、子育て世帯を支える取組の充実がこれまで以上に大切な状況となっています。



2. 教育・保育サービスの利用状況

ニーズ調査の結果から、子育て世帯の就学前児童約88.5%が教育・保育サービスを利用していることがわかりました。(※前回調査時73.1%) 近年の共働き世帯の増加に伴い、より家庭外での支援ニーズが高まっている結果となりました。

計画での具体的な推進施策

計画では5つの項目を柱に推進します。

(1) 地域における子育て支援

- ① 社会全体での子育て支援体制の整備
- ② 子どもの権利の尊重と意識啓発
- ③ 子育て相談・支援の強化
- ④ 子育て家庭への経済的支援
- ⑤ 児童館の機能充実と地域連携

(2) 父母と子どもの健康の確保と増進

- ① 母子保健事業の充実

(3) 子どもが健全に育つ環境の整備

- ① 社会教育の推進
- ② 芸術文化活動の振興
- ③ スポーツ振興

④ 読書活動等の充実

- ⑤ 子どもの遊び場・自然環境の整備
- ⑥ 子どもの安全確保

(4) 子育てと仕事の両立

- ① 保育サービスの充実
- ② 認可保育所・認定こども園への支援
- ③ 放課後の子どもの居場所づくり
- ④ 働きやすい雇用環境の整備
- ⑤ 男女共同による子育ての推進

(5) 支援が必要な児童に対する取組

- ① 支援が必要な子どもと家庭への支援
- ② 配慮が必要な家庭への対応強化



お問い合わせ

保健福祉課（こども家庭センター）子育て支援担当
電話 01457-4-6112 平日8:30-17:15

人権擁護委員制度をご存じですか？

あなたのまちの相談パートナー

～6月1日は「人権擁護の日」～

人権擁護委員は、いつでも地域住民からの相談に応じています。日常生活の中で、これは人権問題ではないだろうかと感じたり、あるいは法律上どのようになるのか、よくわからなくて困ることがあると思います。そのようなときに法務局職員または人権擁護委員がその内容を十分聞いた上で、権利を守るために必要な手続を助言したり、その問題を取り扱う関係官公署や法律事務所等に紹介するなど、それぞれの場合に応じた解決の手助けをします。

相談内容は、家庭内（結婚、夫婦、親子、離婚、相続、扶養等）や近隣とのもめごと、借地借家の問題、外国人差別など幅広い相談を受けています。

人権擁護委員

人権擁護委員は、皆さんのまちの気軽な相談相手です。町民の基本的な人権が侵害されないよう絶えず監視し、侵害があったときには、その相談相手となり適切な救済を図ります。



鈴木 茂氏
(本町) 3 期目



福澤 早苗氏
(振内町) 3 期目



中村 範子氏
(本町) 1 期目



和田 理一氏
(荷葉) 1 期目

行政相談員

行政相談員は、役所と皆さんのパイプ役です。皆さんから年金、税金、登記、道路、河川、窓口サービス等、国の行政機関の業務に関する苦情、要望、意見をお聞きして改善を図ります。

口頭、電話、手紙で行政相談員にお申し出ください。

小林 明美氏 (荷葉)
3 期目 Tel.2-3271



人権イメージキャラクター
人KENまる君



「特設人権・困りごと相談所」を開設

相談は無料で、秘密は厳守されます。予約は不要です。人権擁護委員、行政相談員が相談に応じた解決方法をいっしょに考え、アドバイスしますので、お気軽にお越しください。

○日時 6月4日(木) 10:00～15:00

(受付は14:30まで)

○場所 ふれあいセンターびらとり 小会議室

相談内容は、離婚、相続に関すること、児童・高齢者の虐待に関すること、ハラスメントやいじめに関することなど、様々な相談をお受けします。

《問合せ》 町民課 町民福祉係 (Tel.4-6113)



人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん



森林を守ろう！平取町木育推進事業

平取町の林業関係団体で構成される平取町林業振興対策協議会は、森林の保全など林業振興に関する様々な事業を行っています。その一つとして、森林環境譲与税を活用した木育推進事業「紫雲古津小学校木育教室」と「中学校木育教室」を実施しました。



木育教室は、自然や森林に関心をもち、その大切さを知ってもらい、木に触れながら豊かな心を育むことを目的としています。4月28日(火)に全校児童を対象に「シイタケ原木の植菌体験」を行いました。

「森のはたらき」と普段食べているキノコがどのようにできるのかを学んだ後、30本の榎木(ほだぎ)に高学年は木槌で「種駒」を、低学年は「オガ菌」を丁寧に植え込みました。

植えこまれた榎木の置き場所や伏せ方を変えながら、来年秋の収穫を待ちます。

木育の推進とともに、道民が森林づくり積極的に取り組むこと、地球温暖化を防ぐ「道民ひとり一本植樹・育樹運動」と、森林の働きを学び、森林整備の仕事と技術体験を通して、次世代の担い手育成のための事業も行っています。

今年度は、平取中学校と振内中学校の3年生が、5月8日(金)に枝打ち体験、ドローン操作体験を合同で行いました。

人の手による細かな作業の意味や効果を感じ、森林の保全が持続的で大切な取り組みであること、作業を進めながら、手鋸で丁寧

《中学校木育教室》



台湾・花蓮県萬榮郷公所訪問団が視察来町

昨年5月に友好交流協定を締結した台湾・花蓮県萬榮郷から、梁光明郷長をはじめ公所職員11名が4月21日(火)に平取町を訪れ、二風谷アイヌ文化博物館と就農チャレンジ農場を視察しました。

萬榮郷と平取町は、「豊かな自然に囲まれ、農業を基幹産業としていること」や「先住民族文化を大切にしていること」などの共通点があります。

今回の訪問は、行政同士の友好と相互理解を深める機会として、初めて実現したものです。

今後は、教育・文化・観光など、相互の地域発展に向けた意義ある交流が展開されることが期待されます。



2026年度パラクライミング日本代表選手に 楠 崇央 さん (24歳・本町出身) が決定



パラクライミング大会出場

パラクライミングは、障害のある方のクライミング競技(自然の壁や人口壁を登る)で、障害の種類・程度により競技クラスが分けられます。

楠さんは、上腕障害AU2クラスで唯一の日本代表に選ばれるとともに、北海道から初めての代表選手となりました。

「幼い頃から障害を持っていることで、偏見や好奇の目で見られ、自分がどのように生きていけば良いのか迷っているなか、スポーツとの出会いが自分を大きく変えてくれた。夢を追いかけることができるようになった」と話されました。

また、「自分と同じ障害を持つ人たちに『障害を持っていてもここまでスポーツができるんだ』ということ伝えたいという思いで、全力で挑戦し続けたい」と強い決意で望んでいます。

2028年ロサンゼルスパラリンピックの競技にクライミングが正式に採用されました。楠さんの果敢なる夢への挑戦に皆さんで応援しましょう。



クライミングウォールで練習

4/13 伝承者育成事業 第7期生開講式

公益財団法人アイヌ民族文化財団(札幌市)が事業主体として実施する「伝承者育成事業」は、北海道の歴史をはじめ、アイヌ文化に関する総合的な知識・技術を習得し、アイヌ文化の担い手を育成することを目的として実施されています。

平取町においては、令和2年度の第5期から実施され、今年4月には第7期(3年間)の研修が始まりました。

開講式では、主催者である常本照樹理事長から研修生3名に激励の言葉が贈られ、研修生はあらためて、アイヌ文化の担い手を目指す決意を新たにしました。



第7期生(前列左から)
細羽見 葵さん(青森県)
川上 菜袖希さん(札幌市)
鹿野 猛さん(平取町)

4/21 SHOGENさんと学校プールを色いろいろに

二風谷小学校では、アフリカンペイントアーティスト SHOGENさんをお招きして、学校グラウンドの正面に見えるプールの壁を色とりどりに描くペンキアートに挑戦しました。

SHOGENさんは、アフリカタンザニアで描かれる「ティンガティンガ」というペンキアートの独特な構図と躍動感溢れる色彩表現に魅了され、その画家となるためタンザニアで修行を重ね、日本に活動の場を移してからは、全国各地で壁画や車両ペイントなど「生きるのって、楽しい!」を描くペンキ画家として多方面で活躍されています。

この日は、SHOGENさんと一しょに全校児童が、プールの壁いっぱい色とりどりの明るく楽しく思い思いのペイントを描き、学校に新しい彩りの世界を広げました。



SHOGENさん



5/9 キナアカラ(山菜採り)体験



イオル体験交流事業として、二風谷地区イオルの森で山菜の正しい採取方法とアイヌ語名称を学ぶ体験会が開催され、平取高校の寮生はじめ町内外から39名が参加し、春の自然の恵みを満喫しました。

昼食には、伝統料理キナオハウ(山菜汁)やムンチロメシ(アワ入りご飯)などが振舞われ、春の美味も堪能しました。

平取町の皆さんに知ってほしい 地域みらい 留学生のおはなし

キナアカラ(山菜採り)に参加

前日まで降り続けていた雨も止み、薄曇りの空模様ではありましたが、春の風物詩「キナアカラ」に参加しました。

森の恵みに感謝しながら、山菜について学び、最後には山菜を使った伝統料理も振る舞われ、充実した一日となりました。平取町だからこそ体験できる貴重な時間を過ごし、参加した寮生たちにとって心に残る一日となりました。



手作りケーキに挑戦

スイーツ作りが得意な寮生が、平取高校に入学しました。ゴールデンウィークには、その自慢の腕前を披露してくれました。

この日は、なんと遠藤町長にも参加いただき、とてもアットホームで温かな時間となりました。

キャラメルのお菓子と紅茶の香りが広がる、少し大人な味わいのケーキが出来上がり、参加者みんな大満足のひとつときでした。



地域みらい留学生との交流会

地域みらい留学の制度を利用して十勝・池田町へ進学した2人が、平取町へ遊びに来てくれました。

以前から交流のあった平取町の地域みらい留学生との再会が、この日ついに実現。現在、入寮している寮生も加わり、にぎやかな時間となりました。

同じ境遇の中で高校生活を送る仲間同士の友情を感じる場面も多く、みんなの充実した表情がとても印象的でした。



Instagramでも地域みらい留学生の日常生活や学校生活の様子を発信しています！
頑張る寮生にエールを！！(高校魅力化コーディネーター 土佐・横尾)
✉: coordinator.biratori01@gmail.com

～びらとりの食を学ぶ・体験する～ 食育推進事業 『びらとり食育クラブ』

びらとり食育クラブは、平取町食育推進計画の実践的取組事業の一つとして、令和4年度から、町内小中高生とその保護者を対象とした「食の知識・関心の向上」「地域らしい食の体験・地産地活」をテーマとした、様々な食の学びや体験の活動を行う事業です。

今年度は、小学生23名が参加登録し、『かぼちゃ』をテーマに苗植えから収穫までの栽培体験、最後は採れたかぼちゃで調理に挑戦します。

4月26日(日)、岩知志川上憲司氏のご協力により、ハウスで苗植えを行いました。保護者も参加し、一つ一つ丁寧に植えました。本当に『かぼちゃ』ができるのか不思議そうにながめている子もいました。

食育事業は、平取町の基幹産業である農業の体験や採れたての地場産品を活用した調理実習を通して、健康的な食生活や日本の食文化についての知識を深めるなど、食への興味・関心を持つきっかけづくり、食を通じた子どもたちの生きる力を養うことを目的として実施しています。

平取町食育推進事業 公式YouTubeチャンネル

[びらとりレシピ動画チャンネル]で
活動を紹介しています。ぜひご覧ください。



今更知る。未来の力になる。

全国すべての事業所・企業が対象です。

経済センサス
活動調査

経済の国勢調査

令和8年 4月～5月にかけて
6月1日 調査票をお届けします。

回答はインターネットが
おすすめです。

※この調査は統計法に基づく基礎統計調査で、調査に回答する義務があります。ご回答いただいた内容は統計作成の目的以外(税の資料など)には、絶対に使用しません。

<https://www.e-census2026.go.jp/>

経済センサス2026 検索

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村からのお知らせです。



令和8年度 高齢者大学入学式

4月23日(木)に中央公民館で振内高砂大学・平取義経大学の合同入学式を実施しました。今年度は振内高砂大学25名、平取義経大学12名の合計37名が入学し、様々な体験、合唱、町外施設見学など各大学年間14回程度の活動を行う予定です。

高齢者大学の学習の主題は「健康で生きがいのある幸福生活を求めて」として、学生同士が顔を合わせて談笑することや、いろいろな体験を通して生涯学び続けることの楽しさや喜びを感じることで「生きがい」に繋げることを目標として活動しています。



第42回「振内こどもの日親子ハイキング」



5月の連休に振内町で開催される恒例行事「こどもの日親子ハイキング」(振内自治会・振内スポーツ協会主催)が5日(火)に行われ、幼児から大人まで約40名が参加しました。

参加者は、快晴のもと水分補給を行いながら、青少年会館から仁世宇園までの約7kmを歩き、桜や鳥のさえずりなど平取町の豊かな自然を楽しみました。仁世宇園到着後は、やまべ釣り大会とやまべ稚魚放流を行いました。



釣り大会では、315gの大きなやまべを釣り上げた横田 太燿(よこた たいよう)さんが見事優勝し、大人と子どもたちが協力しながら釣りを楽しむ姿も見られました。

また、約3,000匹のやまべの稚魚を放流しました。参加者は大きく成長して再び仁世宇へ帰ってくることを願いながら放流を行いました。

最後には、自分たちで釣ったやまべの唐揚げを味わい、自然の恵みを感じるひとときとなりました。



『平取町の歴史・風土や文化を愛する心豊かな人づくりをめざして』 ～いつでも、だれでも安心して学べる学校づくりを～

令和8年度の教育活動が始まり、約一か月が過ぎました。各学校では、それぞれの特色を活かしながら、主体性のある教育の実現に向けて日々努力しているところです。

また、参観日や学校運営協議会等において、今年度の経営方針について地域・保護者の方々と情報共有を図り、各学校の重点目標を達成するための支援や協力内容を協議する場として充実を図っているところです。平取町が目指す教育活動を実現するために、地域・家庭と学校が連携を深め、日常的に子どもを見守ることのできる環境をつくっていくことが大切です。子どもたちが、安心安全で楽しい学校生活を過ごせるように、これからもご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

【本年度の各学校の児童生徒数・重点目標・研究主題など】

※上段：重点目標 下段：研究主題

□紫雲古津小学校 23名

「全教育活動において、「あい」を広げる子どもの育成」
【自分の考えを広げ豊かに表現する子の育成～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図って～】

□平取小学校 106名

「トライ&チャレンジAgain」
～自他の違いを受け入れる「尊重する力」とより良い行動を選択する『判断力』の育成～
【安心して自分を表現し、高め合える子どもの育成】

□二風谷小学校 17名

「自己肯定感を高める『4つの力』の育成」
【根拠を明確にして説明できる児童の育成～「書く・聞く・話す」活動とICT活用を通して～】

□貫気別小学校 13名

「自ら学び、考え、表現できる子どもの育成(考える子)」
【自ら考え、ねばり強く学びに向かう力の育成～子どもたちが関わり合い、学び合うよろこびを目指して～】

□振内小学校 25名

「思いやりの心を持ち、自ら学び考える、たくましい子の育成」
～やさしさいっぱい たのしさいっぱい げんきいっぱいの振内小～
【自分の考えを持ち、他者の考えを認め、協働的に学ぶ子どもの育成～書いて表現する活動を通して～】

□平取中学校 89名

「主体的に学習に取り組む生徒の育成～生徒が生き生きと参加できる授業づくりを通して～」
【主体的に学習に取り組む生徒の育成～生徒全員が生き生きと参加できる授業づくりを通して～】

□振内中学校 16名

「自主的に考え、相手を思いやり、ともに成長していける生徒の育成～小さな学校だからできる大きな可能性の追求～」
【言語能力の獲得を基盤にした基礎・基本の確実な習得と活用力の育成～極小規模校の特性を最大限に生かした、きめ細かい指導と評価の一体化を図る授業づくりの探究～】

◆5月末から6月にかけて、小中学校では一学期の大きな行事として体育大会や運動会が開催されます。

《各校体育大会(体育祭)・運動会開催日》

- 5月29日(金) 平取中学校体育祭
- 30日(土) 振内中学校体育大会
- 6月13日(土) 紫雲古津小学校・平取小学校
貫気別小学校・振内小学校
- 14日(日) 二風谷小学校



図書館へよう

○開館時間 火～金曜日 9:30～18:00
土・日曜日 9:30～17:00

○休館日 月曜日・祝日
※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館



図書館カレンダー

6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				



保健福祉課からのお知らせ

新着図書

★他にもあります
★オンラインで検索できます

【一般書 (小説・エッセイ)】

『月夜行路 Returns (リターンズ)』
／秋吉理香子
『コズミック・ガール』
／伊与原新
『きみがなきあと』／木内昇
『異常に非ず』／桜木紫乃
『金波銀波』／澤田瞳子
『家康と七人の忍び』／佐藤賢一
『ノスタルジア』／島本理生
『燻る骨の香り』／千早茜
『謎の香りはパン屋から2』
／土屋うさぎ
『猫君2 りんねの輪』／島中恵
『斜め45度の処世術』／小川哲
『ぼけていく私』
／佐藤愛子、響子、桃子
【児童書】
『見あげればロフトの窓に』
／斉藤洋
『音符がいっぱい』／まはら三桃
『空港のひみつ』
／「空港のひみつ」編集室
『隕石のひみつ』／阿部新助
『マダガスカル島へ』／今森光彦
『徳川家康 戦のない世をつくった武将』／森川成美

【一般書 (その他)】

『ギャンブルに脳がハックされる!?』／常木蓬生
『図解でわかる社会保障』
／山下慎一
『実践! 「逃げ地図」ワークショップ』
／日本都市計画家協会・逃げ地図研究会
『保育園児のためのおうちモンテッソーリ』
／神成美輝
『春雨だから罪悪感なく食べられるレシピ50』
／植松良枝
『スーパーマーケット宇宙』
／益田ミリ
【絵本】
『あついひのおやくそくだもの』
／きだにやすのり作
わたなべあや絵
『いたずらからす』
／さとうわきこ
『かぶとむしがにげた!』
／たしろちさと
『まねっこにらめっこ』
／海野あした
『ヘンゼルとグレーテル』
／ステイーヴン・キング文
モーリス・センダック絵

図書特別整理 (蔵書点検) のお知らせ

6月16日 (火)～19日 (金) は、図書特別整理 (蔵書点検) のため休館となります。

※※ 期間中の注意点 ※※
●資料の返却は受け付けていません。

返却ポスト
(ふれあいセンター玄関よこ)
図書・雑誌のみ
臨時返却ボックス
(3階 図書館入口)
図書・雑誌・CD・DVD

※CD・DVDは破損の恐れがありますので、返却ポストには入れないでください。

※予約・リクエストなどの受け付けはできませんので、ご了承ください。

6月20日 (土) からは通常どおり開館いたします。

●オンライン予約ができます●

「ログインパスワード」は図書館のカウンターで発行しています。

【お問い合わせ】平取町立図書館

□ 電話 01457-4-6666
□ FAX 01457-4-6871
□ メール risu2@guitar.ocn.ne.jp

■ Web ■ 携帯



★★★ 図書ワゴン運行予定 ★★★

■次回 6月4日 (木)

【振内地区】 10:00～12:00 山の駅ほろしり館

【貫気別地区】 14:00～16:00 貫気別生活館

■貸出期間は次回の巡回日までになります。

■毎月第一木曜日に運行します。

■貫気別支所・振内支所 (青少年会館) で返却できます。



毎年6月は「食育月間」
毎月19日は「食育の日」

12 食育を推進しよう



「食育」とは

食育は、生きる上での基本であり、知育・徳育・体育の基礎と位置付けられるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てるものです。

なぜ「食育」は大事ななの!?

栄養の偏りや不規則な食事などによる肥満やそれらが原因と考えられる生活習慣病の増加、また若い女性を中心にみられる過度のダイエット志向、高齢者の低栄養傾向などの健康面での問題に加え、食の安全や信頼にかかわる問題や外国からの食料輸入に依存する問題など食を取り巻く環境が大きく変化しています。

食に関する知識を身に付け、健康的な食生活を実践することにより、心と身体の健康を維持し、生き生きと暮らすために、食育を通じて、生涯にわたって「食べる力」=「生きる力」を育むことが重要とされています。



みんなで「食育」を推進しよう!



食べることは生涯にわたって続く基本的な営みです。子どもはもちろん、大人になってからも「食育」は重要です。一人ひとりが様々な「食」の経験を通じて、「食」に関する知識とバランスの良い「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育むことは、健康的な食のあり方を考えるとともに、誰かと一緒に食事や料理をしたり、食べ物の収穫を体験したり、季節や地域の料理を味わったりするなど、食を通じた「実践の環 (わ)」を広げることにつながります。

「食べる力」=「生きる力」を育む「食育」。実践の環 (わ) を広げよう! 政府広報オンライン
<https://www.gov-online.go.jp/article/201605/entry-8642.html>

平取町役場
総務課（代表） ☎2-2221

まちづくり課 ☎2-2222
アイヌ施策推進課

☎2-2341

観光商工課 ☎3-7703

産業課 ☎2-2223

農業委員会・土地改良区

☎2-2695

税務課 ☎2-2224

出納室 ☎2-2225

建設水道課 ☎2-2226

議会事務局 ☎2-2227

ふれあいセンターびらとり

☎4-6111

町民課 ☎4-6113

保健福祉課

保健推進係・子育て支援係

☎4-6112

介護支援係・介護保険係

☎4-6114

児童館 ☎2-3026

子ども発達支援センター

☎2-3400

地域包括支援センター

「ほほえみ」 ☎2-3700

平取町教育委員会

生涯学習課・学校教育課

☎2-2619

中央公民館 ☎2-2619

町民体育館 ☎2-2749

二風谷アイヌ文化博物館

☎2-2892

沙流川歴史館 ☎2-4085

図書館 ☎4-6666

役場 振内支所 ☎3-3211

役場 真気別支所 ☎5-5204

平取町国民健康保険病院

☎2-2201

平取町社会福祉協議会

☎4-2267

平取町外2町衛生施設組合

☎2-2024

平取消防署 ☎2-2361



ホームページ
QRコード

楳の実俳句会

風染める桜の舞に踊る胸
水温み湧水周り落みどり
光風にタンポポ燥ぎ綿毛舞う
白樺の花粉で悩む吾の鼻
かぶり振る獅子にも似たる栗の花
独活の白掘りて見上げる空の碧
開店にパンジーポット客を呼ぶ
地に伏せる目に日高嶺の春夕焼
野あそびや天気占う靴とばし
新樹揺るわたしを見てと言いたげに
カーネーション母の面影青き空
初音きくよろこび老を浮きたたせ

石川 佐智子
遠藤 紫光
加藤 えい子
川上 八重子
川上 洋子
熊谷 厚子
千葉 俊子
長野 新一
中村 節子
西 希
野口 勢津子
渡辺 正子

まちの人口と世帯数

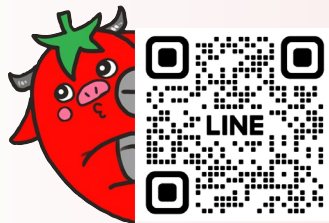
		(前月比)
人口	4,368 人	(37 人)
男	2,177 人	(28 人)
女	2,191 人	(9 人)
世帯数	2,419 世帯	(37 世帯)

※令和8年4月末現在の住民基本台帳による

戸籍の窓口

【平取町 LINE 公式アカウント】

QRコードから **友だち追加・受信設定** をして、町からのお知らせをぜひチェックしてください。



友だち登録 続々増加中！

ふるさと納税寄附

令和8年4月寄附件数・寄附金額

583件 15,329,500円

令和8年度累計

(4月1日～4月30日まで)

583件 15,329,500円